

オリンピック新登場！『エクストリームスポーツ』

清水 勝

『東京2020オリンピック』で印象的だったのは、スケートボード競技だった。ストリート部門では、男子の堀米雄斗が金メダルを獲得。女子でも西矢椛が金、中山楓奈が銅に輝いた。女子パーク部門でも、四十住さくらが金、開心那が銀、十二歳の開は日本最年少メダリスト。そして四位の岡本碧優は難トリックに挑戦し失敗したものの、共に戦ってきた各国の選手に肩車され笑顔がこぼれていた。

今回のオリンピックには空手と、スケートボード、スポーツクライミング、サーフィン、さらに自転車競技では新種目にBMXフリースなどエクストリームスポーツ（Xスポーツ）と呼ばれている新種目が登場した。

Xスポーツは速さや高さ、危険さや華麗さなど過激な（extreme）要素を持った、離れ業的なスポーツをいう。

特徴的な点は、勝者・敗者の概念は余りなく、自分の技をいかに高め、アピールするかを競っている。試技の機会が複数回あり、そのうちの最高点が持ち点となる。従って、失敗しても次のチャレンジができるポジティブさがある。

「目標は金メダルではなく、自分のルーティンをすることでした」と語っている選手がいた。

その所為もあって競技者には笑顔がこぼれ、いかにも楽しみながら自分の理想としている技を見てもらいたいの気持ちが出ていた。

これがスポーツなの？お遊びじゃないの？愚かで、向こう見ずで危険だ、と年配者は思ってしまうが、そうではないようだ。

若者にとっては、自分の身体能力や度胸の限界を求めるXスポーツはカッコよくて憧れであり、そのファッションにも関心が集まり、若者文化に大きな影響を与えている。

若者の心を掴みたいとのIOCの思惑もあってオリンピックに新登場したことから、いずれ年配者の従来の固定観念は払拭されるだろう。

このエクストリームスポーツの発想が、国を背負って順位を争うオリンピックの性格に少なからず影響を与え、新たなオリンピック像が生まれるような気がした。

注：BMX=Bicycle Motocross の略称

（800字）